

大切な
甲賀市の自然 ⑮

甲賀市内にすむ
絶滅が心配される動植物や
それらを育む大切な
自然についての連載です

里山の花
キキョウ

キキョウは花の美しさから秋の七草の一つとして、古くから親しまれてきました。庭にも植えられ、栽培種には、白花や八重咲きのものもありますが、青紫色で一重咲きの野生種は少なくなっていました。全国的に絶滅危惧植物に挙げられ、甲賀市内でも山野で花を見つけることは、とても難しくなっています。

キキョウの根茎はキキョウサポニンという成分を含み、痰を除き、せきを鎮める作用があり、漢方薬として利用されてきました。

身近な植物であったキキョウですが、これほどまでに減少してしまったのは、乱獲されたこと、さらに、生育地の里山の草地が、草刈りなどの人の手が入らなくなって、失われてしまったことが原因と考えられています。里山の草地では、他にもオキナグサ、タヌキマメ、イヌセンブリ、ノカンゾウ、ヒキヨモギ、スズサイコなどの植物が生育環境の変ったことなどにより減少しています。

里山の草地は、いわば人の手によって維持されてきた環境ですが、植物だけではなく、昆虫、野鳥、哺乳類などさまざまな生きものが、かわりあって、この環境に適応して生きてきました。生きものの変化は人の暮らし方の変化の反映と考えられそうです。



▲キキョウ

7月の
休園日

2日(月)、9日(月)、10日(火) 10日(火)は展示替えのため臨時休園です。
17日(火)、23日(月)、30日(月)

みなくち子どもの森自然館
☎ 63-6712 FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会 芸欄

今回は信楽町文化協会からお寄せいただきました。

志がらき俳壇

- ・終バスの峠を越える臍かな 観月
- ・山門にひびく鐘の音桜散る すゑ
- ・桜花校舎は淡き灯をともし 和子
- ・山桜裾野に見える民家の灯 幸子
- ・花の昼人声は屋根の上より 栄子
- ・白き腹波打たせてる鯉のぼり 宏衛
- ・どこまでも水仙続く越の浜 克己

信楽川柳教室 平賀胤寿選

- ・もうひとつ石を乗せてはどうかしら 栄子
- ・あたたかい石に魚も寄ってくる 泰輔
- ・つまずいて石に教わるひとり立ち 繁雄
- ・ネオン街心もほどけ五色石 美栄子
- ・庭の花ほほ笑みかけて石目ざむ 敬子
- ・池石に亀の兄弟日向ぼこ かつ子

短歌地中海信楽グループ

- ・タクト振る恩師のお歳お預けか流るるメロデー青春の意気 高井 仁波知
- ・遠近の山の静もり幾重なる墨絵の如き今日の北山 小山 平八郎
- ・千年の聖の宮居はたそがれてあそぶ松風礎石は知るや 谷井 かつ子

信楽冠句連盟

- ・露天風呂月と対話の癒し旅 月路
- ・野に遊ぶ雲の流れを追う詩人 一三
- ・一心に男が決めた道一つ 一晴
- ・天高く青空冴えて深呼吸 徳栄
- ・露天風呂雑念消した湯の煙 政峰
- ・風の彩経済人は動き知る 翡翠
- ・夜の雨縫りを戻した姑の知恵 美代江
- ・黙々と陶工一路老の坂 好湖
- ・夜の雨終着駅は遠くとも しのお
- ・黙々と今日一日の積み重ね みどり
- ・露天風呂隊長の背は広かった 陶玉
- ・風の彩悟り導く嵯峨小径 友季
- ・公平に万物育む陽の慈光 千草

次号(8月1日号)は、甲南町文化協会の予定です。